

④その他、本遺跡出土の木簡には、次のように注目すべきものがある。①比較的まとまって出土した伊予国の湯評関係木簡(④・⑤)の内包する諸問題、②「児島マ」「□止伯マ」「鵜人マ」など、未知の部が新たに多数知られるに至った点(⑥・⑨)、③「大伯皇子宮」「石川宮」など飛鳥やその周辺地域に点在していたと思われる宮が確認されたこと、など、今後にも多くの検討課題を残す。

なお木簡の釈読に当たり、東野治之氏にご協力頂いた。

## 9 関係文献

奈良国立文化財研究所『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』一二一(一九九二年)

(橋本義則)

## 木簡研究 第四号

巻頭言——木簡保存法の思い出——

坪井清足

一九八一年出土の木簡

概要 平城宮跡 奈良女子大学構内遺跡 法隆寺 藤原宮跡  
長岡京跡 三条西殿跡 鳥羽離宮跡 若江遺跡 佐堂遺跡  
大阪城三の丸(大手口)遺跡 小曽根遺跡 尾張国府跡 下  
津城跡 坂尻遺跡 小川城跡 恒川遺跡 三ツ寺Ⅱ遺跡 下  
野国府跡 多賀城跡 郡山遺跡 胆沢城跡 道伝遺跡 笹原  
遺跡 明成寺遺跡 安田遺跡 大森鐘島遺跡 高堂遺跡 漆  
町遺跡(C地区) 南吉田葛山遺跡 百間川遺跡群(原尾島  
遺跡) 草戸千軒町遺跡 道照遺跡 長門国分寺跡 野田地  
区遺跡 湯川神社境内遺跡 大宰府跡(大楠地区) 九州大  
学(筑紫地区) 構内遺跡 長野遺跡 辻田西遺跡  
一九七七年以前出土の木簡(四)

平城宮跡(第二二次南・第二七次・第二八次・第二九次)

呪符木簡の系譜

和田 萃

木簡と上代文学——水産物付札をめぐる——

小谷 博泰

「漆紙文書」出土概要

佐藤 宗諄

彙報

頒価 三五〇〇円 千五〇〇円